

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要			事業番号	49
実施計画事業名	良好な土地利用の推進		担当部署名	都市計画課
事業の実施目的及び概要	都市マスタープランにおいて定めた将来都市像に向け、自然環境と都市環境が調和した適正で機能的な土地利用の誘導をしていくため、地区計画制度の活用を通じて、地域ごとに規制項目を定め、良好な都市環境の実現と居住環境の保全を目指します。また、都市計画基本図や都市計画情報等のデータ整備を通じて、地図情報の高度化を図り、市民サービスの向上を目指します。 良好な景観の形成に向けて、景観法・景観条例による届出制度を運用するとともに、市民や事業者との協働による景観まちづくりを推進します。			
関連施策	【4-1】適正な土地利用の推進	根拠法令 関連計画	都市計画法 印西市都市マスタープラン 印西市景観計画	
取組方針	駅圏機能の強化/地域生活拠点の機能保全/産業拠点の充実			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	9 産業と地域革新の基盤をつくろう  11 住み続けられるまちづくりを  15 陸の豊かさを保ち増やそう  17 パートナーシップで目標を達成しよう 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	・都市計画GISデータ修正、システム保守 ★景観まちづくり市民懇談会の開催 ★景観計画区域内行為の届出制度の運用 ★協働による景観まちづくりの推進	・都市計画GISデータ修正、システム保守 ★景観まちづくり市民懇談会の開催 ★景観計画区域内行為の届出制度の運用 ★協働による景観まちづくりの推進 ・都市計画基礎調査の実施	・都市計画GISデータ修正、システム保守 ★景観まちづくり市民懇談会の開催 ★景観計画区域内行為の届出制度の運用 ★協働による景観まちづくりの推進
事業費	25,258千円	14,877千円	6,194千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	7-3-1	都市計画総務費	都市計画決定・変更に要する経費
	7-3-1	都市計画総務費	都市計画GIS整備事業
	7-3-1	都市計画総務費	景観形成促進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の事業実績・成果	■都市計画地理情報システム整備 ・都市計画GISシステム構築 ■良好な景観形成の推進 ・景観計画区域内行為の届出制度の運用 ・景観まちづくり市民懇談会の開催(1回) ・協働による景観まちづくりの推進 ・景観審議会の開催(4回)	当初予算	25,258,000円
		予算現額	8,163,000円
		決算額	7,923,444円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	景観まちづくり市民懇談会の開催	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	1	1	1	2	1
	都市計画基礎調査	%	目標値	100	—	—	—	—
			実績値	100	—	—	—	—
	都市計画基本図の修正	%	目標値	—	—	—	100	—
			実績値	—	—	—	100	—
			目標値					
			実績値					
成果指標	景観区域における行為の届出数	件	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	86	77	69	87	61
	市街化区域人口	人	目標値	82,500	83,500	84,400	85,400	86,300
			実績値	85,115	86,613	86,743	86,505	86,528
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	景観まちづくり市民懇談会の開催数は目標に届かなかったが、良好な景観形成の推進に向けた検討を進めることができた。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	景観まちづくり市民懇談会の開催数は目標に届かなかったが、良好な景観形成の推進に向けた検討を進めることができた。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
都市計画基礎調査の実施や都市マスタープランの修正により、良好な土地利用の推進を図り、今後も事業を継続していく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要			事業番号	50
実施計画事業名	印旛中央地区の市街地形成の支援		担当部署名	都市計画課
事業の実施目的 及び概要	印旛中央地区については、千葉ニュータウンに隣接し、北千葉道路により東京方面や成田国際空港へのアクセスに恵まれた立地条件などを活かし、産業・業務機能及び居住機能を備えたまちづくりが求められており、組合施行による土地区画整理事業の事業化が検討されています。市としても、この地区の都市的土地利用の実現のために、事業化を含めた必要な支援を行っていきます。			
関連施策	【4-1】適正な土地利用の推進	根拠法令 関連計画	土地区画整理法 都市計画法	
取組方針	開発検討拠点の事業促進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	9 産業と地域振興の 発展をつくる  11 住み続けられる まちづくりを  15 陸の豊かさも 守ろう  17 パートナーシップで 目標を達成しよう 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・土地区画整理組合の設立に対する支援	・土地区画整理組合の設立に対する支援	・土地区画整理組合の設立に対する支援
事業費	2,245千円	未定	未定

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	7-3-5	区画整理事業費	印旛中央地区に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	これまで印旛中央地区の事業化に向けて検討を行ってきた印旛中央土地区画整理事業発起人会が令和7年3月に解散したことを受け、新たな本地区の事業化に向けて、現時点の本地区の需要や最適な事業手法、事業化へのアイデアについて調査するため、様々な形でまちづくりに関わる民間企業27者を対象にサウンディング調査を実施した。 また、地権者説明会を3回開催し、本地区の事業化に向けたこれまでの検討経緯や企業サウンディング調査結果の報告のほか、今後の事業化に向けた市の考え等について説明を行った。	当初予算	2,245,000円
		予算現額	4,526,000円
		決算額	1,714,535円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	地権者説明会(会の総会含む)の実施	回	目標値	2	1	1	2	2
			実績値	1	0	0	1	3
	発起人会又は組合設立準備委員会の会議開催	回	目標値	5	5	6	—	—
			実績値	9	8	1	3	—
	発起人会の会議開催	回	目標値	—	—	—	8	1
			実績値	—	—	—	2	—
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	組合設立準備委員会の発足		目標値	発足	—	—	—	—
			実績値	発足	—	—	—	—
	土地区画整理組合の発足(事業認可取得)		目標値	—	—	発足	—	—
			実績値	—	—	—	—	—
	事業進捗率(事業費ベース)	%	目標値	—	—	5	10	15
			実績値	—	—	—	—	—
	土地区画整理組合の発足(組合設立の認可取得)	—	目標値	—	—	—	発足	—
			実績値	—	—	—	—	—
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	地権者説明会を3回開催し、本地区の事業化に向けたこれまでの検討経緯や企業サウンディング調査結果の報告のほか、今後の事業化に向けた市の考え等について説明を行った。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	印旛中央地区の新たな事業化検討としてゼロからのスタートとなったことから、定められている事業進捗率には至らなかったものの、民間企業を対象にサウンディング調査を実施するなど、本地区の事業化に向けて着実に進めている。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	検討の進捗状況について地権者説明を行いながら事業化に向けて着実に進めている。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
印旛中央地区の新たな事業化に向け、令和7年度に実施した企業サウンディング調査を踏まえ、令和8年度に事業化検討業務委託を発注する。また、本委託内にて事業計画素案を作成し、令和10年度の事業化パートナーの公募及び決定を目指す。

令和7年度分 実施計画事業評価票

事業番号 51

1. 事業の概要

実施計画事業名	地籍調査の推進	担当部署名	道路管理課
事業の実施目的 及び概要	土地境界をめぐるトラブルの未然防止や災害復旧の迅速化、公共事業の円滑化等を図るため、地籍調査を実施していきます。		
関連施策	【4-1】適正な土地利用の推進	根拠法令 関連計画	国土調査法 地籍調査事業計画
取組方針	土地保全の推進		
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる		
関係するSDGs	9 産業と雇用 の繁栄を つなぐ  11 住み続け たいまち  15 陸の豊か さを保 つ  17 パートナー シップで 目標を 実現しよう 		

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	■地籍調査事業 実施工区における説明会の開催、境界立ち会い及び測量と閲覧の実施	■地籍調査事業 実施工区における説明会の開催、境界立ち会い及び測量と閲覧の実施	■地籍調査事業 実施工区における説明会の開催、境界立ち会い及び測量と閲覧の実施
事業費	76,034千円	85,000千円	85,000千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	7-3-1	都市計画総務費	地籍調査事業に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	当初予定していた第6工区、第7工区、第8工区、第9工区の測量作業等について、おおむね実施することができた。なお、第6工区については、3年目作業が終了したことで、事業完了となった。 ・第6工区(3年目) 地籍図の作成、面積測量、権利者による閲覧等を実施 ・第7工区、第8工区(2年目) 一筆地測量、復元測量、現地調査等を実施 ・第9工区(1年目) 調査図素図作成、地籍調査票作成、事前現地調査、現況測量等を実施	当初予算	76,034,000円
		予算現額	71,138,000円
		決算額	71,082,333円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	説明会の開催回数	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	0	8	3	3	1
	現地調査を実施した筆数	筆	目標値	700	700	700	700	700
			実績値	894	838	1,891	445	1,000
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	境界同意率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	99.7	99.7	98.4	100.0	98.0
	完了工区数(総数)	工区	目標値	1	2	3	5	6
			実績値	1	2	3	5	6
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	説明会対象の工区面積が少なかったため、説明会開催を1回とした。現地調査を実施した筆数は目標値を上回った。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	境界同意率、完了工区数について、ほぼ当初の計画どおりに実施することができた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	令和7年度は、第6工区の県認証依頼まで行うことができ、計画どおり事業を進めることができた。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
地籍調査事業計画に基づき、計画的に地籍調査を実施することは、災害復旧の迅速化や公共事業の円滑化等につながることから、継続的に事業を進めていく必要がある。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要			事業番号	52
実施計画事業名	災害に強い住まいづくりの促進		担当部署名	開発建築課
事業の実施目的 及び概要	地震災害から市民の生命及び財産を効果的かつ効率的に保護するため、印西市耐震改修促進計画を基に、建築物の耐震化の促進や危険ブロック塀等の除却の促進を図ります。			
関連施策	【4-2】 緑あふれる居住環境の実現	根拠法令 関連計画	建築物の耐震改修の促進に関する法律 印西市耐震改修促進計画 印西市住生活基本計画	
取組方針	災害に強い住まいづくりの促進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	 11 住み続けられるまちづくりを  15 陸の豊かさを保ち増やす			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・木造住宅への耐震改修費補助(耐震診断、耐震改修工事、建て替え) ・危険ブロック塀等への除却費補助 ・耐震相談会の開催 ・印西市耐震改修促進計画改定	・木造住宅への耐震改修費補助(耐震診断、耐震改修工事、建て替え) ・危険ブロック塀等への除却費補助 ・耐震相談会の開催	・木造住宅への耐震改修費補助(耐震診断、耐震改修工事、建て替え) ・危険ブロック塀等への除却費補助 ・耐震相談会の開催
事業費	3,264千円	4,110千円	4,110千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	7-3-1	都市計画総務費	住宅・建築物耐震改修促進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・住宅・建築物耐震改修促進事業補助金(耐震診断1件、改修工事1件) ・危険ブロック塀等除却費補助金 1件 ・耐震相談会の開催 3回 ・印西市耐震改修促進計画改定	当初予算	3,264,000円
		予算現額	1,232,000円
		決算額	1,232,000円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

* 印西市住宅・建築物耐震改修促進事業補助金交付要綱を廃止し、令和7年度より印西市木造住宅耐震改修促進事業交付要綱にて補助開始

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	耐震相談会等の周知(広報いんざい)	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	3	3
	耐震相談会の開催	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	4	3
			目標値					
			実績値					
成果指標	住宅・建築物耐震改修促進事業補助金(耐震診断3件)	件	目標値	3	3	3	3	—
			実績値	2	2	1	9	—
	住宅・建築物耐震改修促進事業補助金(耐震改修設計1件)	件	目標値	1	1	1	1	—
			実績値	0	0	0	0	—
	住宅・建築物耐震改修促進事業補助金(耐震改修工事1件)	件	目標値	1	1	1	1	—
			実績値	0	0	0	0	—
	危険ブロック塀等除却費補助金	件	目標値	20	20	20	20	20
			実績値	4	7	3	3	1
	木造住宅耐震改修促進事業補助金(耐震診断)	件	目標値	—	—	—	—	3
			実績値	—	—	—	—	1
	木造住宅耐震改修促進事業補助金(耐震改修工事)	件	目標値	—	—	—	—	1
			実績値	—	—	—	—	1
	木造住宅耐震改修促進事業補助金(建て替え)	件	目標値	—	—	—	—	1
			実績値	—	—	—	—	0

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	補助事業や相談会の周知を広報、市ホームページ、町内会回覧にて行い、相談会については目標のとおり実施した。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	危険ブロック塀除却費補助金及び木造住宅耐震改修促進事業の申請件数は、目標を下回った。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	補助事業等の周知、相談会については、ほぼ目標のとおり周知を図ることができたが、補助申請件数が目標を下回った。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
木造住宅耐震改修促進事業の広報、、市ホームページでの周知の他、危険ブロック塀等除却費補助金は、所有者に直接補助金の案内を配布するなど周知を図っている。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要			事業番号	53
実施計画事業名	空家等対策の推進		担当部署名	開発建築課
事業の実施目的 及び概要	適切な管理が行われていない空家等が防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に影響を及ぼすことを鑑み、印西市空家等対策計画を基に、利活用の促進や管理不全な空家等の解消を図ります。			
関連施策	【4-2】 緑あふれる居住環境の実現	根拠法令 関連計画	空家等対策の推進に関する特別措置法 印西市空家等対策計画 印西市住生活基本計画	
取組方針	空家等対策の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	11 住み続けられるまちづくりを  15 陸の豊かさを保ち、増進 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・空家等対策協議会の開催 ・空き家リフォーム工事補助 ・空き家バンク成約補助 ・空家等実態調査	・空家等対策協議会の開催 ・空き家リフォーム工事補助 ・空き家バンク成約補助 ・印西市空家等対策計画改定	・空家等対策協議会の開催 ・空き家リフォーム工事補助 ・空き家バンク成約補助
事業費	14,601千円	14,906千円	4,019千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	7-3-1	都市計画総務費	住生活基本計画推進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・空家等対策協議会の開催 1回 ・空き家リフォーム工事補助金 1件 ・空家等実態調査を実施した。	当初予算	14,601,000円
		予算現額	7,416,000円
		決算額	7,282,134円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	空き家の適切な管理の周知(広報いんざい)	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	3	3
	空き家バンク等の周知(広報いんざい)	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	3	3
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	空き家リフォーム工事補助金	件	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	0	2	1	2	1
	空き家バンク成約補助金	件	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	1	0	0	0	0
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	空き家の適切な管理に関して、広報、市ホームページの他、市内ショッピングモール内のデジタルサイネージにて周知した。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	空き家リフォーム工事補助金、空き家バンクは、広報、ホームページにて周知を図ったが目標値を下回った。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	空き家の利活用を図る目的で令和2年度に創設した2つの補助金は、広報、ホームページの他、関係者に周知を図ったが目標値を下回った。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
空家等実態調査により、空家等の状況を把握、所有者へのアンケートを実施し、空家等の管理に関する周知を図る。また、他自治体の取り組みなどを研究し、効果的な事業実施を図りたい。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要			事業番号	54
実施計画事業名	公園の適切な維持管理の推進		担当部署名	公園緑地課
事業の実施目的 及び概要	すべての公園利用者が快適かつ安全で安心して利用できるよう適切な維持管理に努めます。 遊具などの公園施設については、定期的な点検を実施し、安全性の確保や機能の維持を図りつつ、公園施設長寿命化計画に基づき計画的な補修や更新等を行います。 また、市民参加による公園の美化活動への支援を行い、市民と市が一体となったまちづくり活動を推進します。			
関連施策	【4-2】 緑あふれる居住環境の実現	根拠法令 関連計画	都市公園法 印西市緑の基本計画 印西市公園施設長寿命化計画	
取組方針	公園の適切な維持管理の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	 11 住み続けられるまちづくりを  15 陸の豊かさを保ち増進			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・遊具等の定期点検 ・公園施設の計画的な補修・更新等 ・指定管理者制度の導入・活用の検討 ・公園美化活動への支援	・遊具等の定期点検 ・公園施設の計画的な補修・更新等 ・指定管理者制度の導入・活用手続き ・公園美化活動への支援	・遊具等の定期点検 ・公園施設の計画的な補修・更新等 ・指定管理者制度の導入 ・公園美化活動への支援
事業費	1,821,801千円	1,000,000千円	1,000,000千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	7-3-3	公園費	公園緑地維持管理事業

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・125公園、2緑地の遊具等の点検を実施した。 ・公園施設長寿命化計画に基づく改修を13件実施した。その他、園路灯等の修繕を113件、松山下公園野球場グラウンド等の工事を2件実施した。 ・指定管理者制度の導入・活用について、課題等の整理を行い、予定している工事等のスケジュールにより導入時期の見直しを図った。 ・公園美化活動への支援として、管理に必要なとなる清掃用具等を提供した。	当初予算	1,821,801,000円
		予算現額	1,523,819,000円
		決算額	1,330,772,983円
		翌年度繰越額	72,200,000円

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	遊具等点検回数	回	目標値	25	25	25	25	25
			実績値	25	25	25	25	25
	公園施設長寿命化計画に基づく改修施設数	件	目標値	7	7	12	2	15
			実績値	7	5	11	2	13
	公園美化団体への参加周知	回	目標値	-	-	-	2	2
			実績値	-	-	-	2	2
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	公園施設長寿命化計画の達成率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	70	92	100	87
	市民参加による公園美化団体数	団体	目標値	25	26	27	28	29
			実績値	30	31	31	30	32
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	適切な公園施設の管理を行う。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	適切な公園施設の管理を行う。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	適切な公園施設の管理を行う。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
令和8年度も適切な公園施設の管理を推進する。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要			事業番号	55
実施計画事業名	道路網の整備	担当部署名	道路建設課	
事業の実施目的 及び概要	駅圏と地域拠点を結ぶ地域間ネットワークを充実するため、印西牧の原駅圏と小林駅圏を結ぶ市道00-031号線の整備を進めます。また、市道00-008号線、市道00-107号線、市道00-116号線、市道00-122号線等の整備を進め道路網の整備を図ります。			
関連施策	【4-3】道路環境の充実	根拠法令 関連計画	印西市都市マスタープラン	
取組方針	主要幹線道路(国道)と都市幹線道路(県道)の充実/ 都市幹線道路(市道)、補助幹線道路、区画道路の充実			
総合戦略	基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	9 産業と技術革新の基盤をつくろう  11 住み続けられるまちづくりを 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	○市道00-122号線整備事業 ・用地取得等 ○市道竜腹寺線整備事業 ○市道00-107号線整備事業 ・用地取得等 ○通学路交通安全対策事業 ・市道25-054号線 用地取得、道路改良工事 ・市道25-083号線 道路改良工事 ○市道00-031号線整備事業 ・用地取得等 ○市道00-008号線整備事業 ・用地取得等 ○その他市道整備事業 ★北千葉道路建設促進 ★国等に対して要望実施 ★千葉竜ヶ崎線バイパス(仮称コスモス通り)道路整備事業	○市道00-122号線整備事業 ・道路改良工事 ○市道竜腹寺線整備事業 ・橋梁詳細設計 ○市道00-107号線整備事業 ・文化財調査 ○市道00-031号線整備事業 ・擁壁工事 ○市道00-008号線整備事業 ・道路改良工事 ○その他市道整備事業 ★北千葉道路建設促進 ★国等に対して要望実施 ★千葉竜ヶ崎線バイパス(仮称コスモス通り)道路整備事業	○市道00-122号線整備事業 ・交差点改良工事 ○市道竜腹寺線整備事業 ・橋梁詳細設計 ○市道00-107号線整備事業 ・道路改良工事 ○市道00-031号線整備事業 ・擁壁工事 ○その他市道整備事業 ★北千葉道路建設促進 ★国等に対して要望実施 ★千葉竜ヶ崎線バイパス(仮称コスモス通り)道路整備事業
事業費	508,427千円	744,502千円	737,002千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	7-1-3	道路新設改良費	道路新設改良事業
	7-1-3	道路新設改良費	千葉竜ヶ崎線バイパス(仮称コスモス通り)道路整備事業
	7-1-3	道路新設改良費	通学路交通安全対策事業
	7-3-2	街路事業費	都市計画道路新設改良事業

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	○市道00-122号線整備事業 ・道路改良工事、用地取得等 ○市道竜腹寺線整備事業 ○市道00-107号線整備事業 ・用地取得等 ○通学路交通安全対策事業 市道25-054号線 ・道路改良工事、用地取得等 市道25-083号線 ・道路改良工事 ○市道00-031号線整備事業 ○市道00-008号線整備事業 ○その他市道整備事業 ★北千葉道路建設促進 ★国等に対して要望実施 ★千葉竜ヶ崎線バイパス(仮称コスモス通り)道路整備事業 用地取得	当初予算	508,427,000円
		予算現額	555,774,000円
		決算額	467,415,642円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	市道00-122号線整備事業工事延長	m	目標値	440	840	420	20	—
			実績値	250	400	580	20	—
	市道00-107号線整備事業工事延長	m	目標値	—	—	—	725	725
			実績値	—	—	—	0	0
	通学路交通安全対策事業市道25-054号線工事延長	m	目標値	—	—	—	145	145
			実績値	—	—	—	200	76
成果指標	市道00-008号線整備事業工事延長	m	目標値	—	—	330	—	—
			実績値	—	—	291	0	0
	北千葉道路建設促進要望活動	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	2	2	3
	市道00-026号線延伸区間道路整備事業進捗率	%	目標値	80	100	—	—	—
			実績値	70	95	100	—	—
	市道00-122号線整備事業進捗率	%	目標値	60	75	90	100	—
			実績値	45	50	60	65	70
	市道竜腹寺線整備事業進捗率	%	目標値	20	30	40	60	80
			実績値	20	20	20	20	20
	市道00-107号線整備事業進捗率	%	目標値	20	40	60	80	100
			実績値	10	20	30	35	40
	通学路交通安全対策事業市道25-054号線進捗率	%	目標値	20	40	60	80	100
			実績値	20	40	55	70	100
	市道00-031号線整備事業進捗率	%	目標値	55	60	65	70	75
			実績値	45	50	50	50	50
	市道00-008号線整備事業進捗率	%	目標値	50	70	100	—	—
				20	30	88	88	88

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	目標値をやや下回ったが、引き続き事業の進捗を図っていく。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	目標値をやや下回ったが、引き続き事業の進捗を図っていく。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	総合的な事業実績はやや下回ったが、引き続き事業の進捗を図っていく。

今後の方向性や課題等
引き続き、各事業の完了に向け要望活動、用地取得に取り組む。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要			事業番号	56
実施計画事業名	道路などの適切な維持管理の推進		担当部署名	道路維持課
事業の実施目的 及び概要	市が管理する道路などの適切な維持管理を推進し、安全で快適な道路環境を保ちます。			
関連施策	【4-3】道路環境の充実	根拠法令 関連計画	道路法 橋梁長寿命化修繕計画 印西市道路舗装修繕計画	
取組方針	道路の維持管理の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	9 産業と雇用 の創出  11 安全で 健康なまちづくり 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	★市道及び市管理道路等の維持管理 ・道路パトロールの実施 ・舗装修繕の実施 ・街路樹等の維持管理 ★ふれあいロード美化活動への支援 ・橋梁定期点検の実施 ・橋梁補修の実施 ・側溝整備の実施 ・側溝等の清掃	★市道及び市管理道路等の維持管理 ・道路パトロールの実施 ・舗装修繕の実施 ・街路樹等の維持管理 ★ふれあいロード美化活動への支援 ・橋梁定期点検の実施 ・橋梁補修の実施 ・側溝整備の実施 ・側溝等の清掃	★市道及び市管理道路等の維持管理 ・道路パトロールの実施 ・舗装修繕の実施 ・街路樹等の維持管理 ★ふれあいロード美化活動への支援 ・橋梁定期点検の実施 ・橋梁補修の実施 ・側溝整備の実施 ・側溝等の清掃
事業費	1,431,340千円	1,352,628千円	1,331,078千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	7-1-2	道路維持費	道路維持修繕に要する費用
	7-1-4	橋りょう維持費	橋りょう維持修繕に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・道路パトロール 週5日、255日/年 ・ふれあいロード美化活動への支援 21団体に花苗支給等 ・街路樹等の維持管理 10地区に分割し除草及び樹木剪定等を実施 ・舗装修繕工事 L=2, 326m ・橋梁定期点検 N=13橋 ・橋梁補修工事 N=1橋 ・側溝整備工事 L=288m ・側溝等の清掃 L=4, 233m	当初予算	1,431,340,000円
		予算現額	1,431,316,000円
		決算額	1,398,961,134円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	道路パトロール	日	目標値	208	208	208	208	208
			実績値	242	243	243	243	255
	点検実施橋梁数	橋	目標値	75	56	50	11	13
			実績値	72	45	64	11	13
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	舗装修繕延長	m	目標値	1,400	680	1,595	2,093	2,759
			実績値	3,974	4,957	4,087	2,086	2,326
	橋梁長寿命化修繕実施数	橋	目標値	—	1	3	7	8
			実績値	1	2	4	4	1
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	橋梁長寿命化修繕では、規模の大きい橋梁は修繕完了までに時間を要することや、廃橋の検討に時間を要するため、目標値を下回った。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	引き続き、各種計画に基づき、修繕等を計画的に進めていく。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
安全で快適な道路環境を保つため、舗装の破損状況に応じて順次必要な修繕を進めるとともに、道路パトロールや市民からの情報提供などにより、事故に直結する破損個所の対応に努める。橋りょうについては、継続的に点検を実施し、橋りょうの健全度に応じて順次必要な修繕を進める。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要			事業番号	57
実施計画事業名	水道の安定供給		担当部署名	水道課
事業の実施目的及び概要	将来に渡り安全で良質な水道水を安定的に供給するため、水需要を的確に把握し、受水量の確保や水道施設の計画的な整備・更新を進めます。			
関連施策	【4-4】上下水道事業の安定的な運営	根拠法令 関連計画	水道法 印西市水道ビジョン 印西市水道事業経営戦略	
取組方針	水道の安定供給/安定的な事業運営			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	1 貧困をなくそう  6 安全な水とトイレを世界中に  14 海の豊かさを守ろう 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・配水整備工事 吉田地先 大森地先 ・水道管路施設点検・維持管理業務 木下東地区 ・配水場の設備更新	・配水整備工事 吉田地先 小林地先 ・水道管路施設点検・維持管理業務 大森地区 ・配水場の設備更新	・配水整備工事 吉田地先 ・水道管路施設点検・維持管理業務 瀬戸地区 ・配水場の設備更新
事業費	382,349千円	550,000千円	450,000千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	【水道事業会計予算(収益的支出)】		
	1-1-2	配水及び給水費	
	【水道事業会計予算(資本的支出)】		
	1-1-1	建設工事費	
	1-1-3	建設事務費	

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	吉田地区配水整備 L=1,209.7m 大森地区配水整備 L=446.9m 印西地区配水管洗浄業務委託(漏水調査) L=3.6km	当初予算	382,349,000円
		予算現額	280,459,100円
		決算額	244,313,414円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	吉田地区配水管整備延長	m	目標値	708	406	996	1,047	1,396
			実績値	761	777	28	1,086	1,210
	水道の漏水調査	km	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	1	4.5	4.5	4.5	3.6
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	市営水道の普及率	%	目標値	70.70	71.00	71.30	71.60	72.00
			実績値	73.38	73.72	74.40	75.60	75.80
	水道の普及率 (千葉県・印西市・長門川水道 企業団など)	%	目標値	84.10	84.30	84.50	84.70	85.00
			実績値	86.70	87.80	88.30	89.30	90.50
	吉田地区整備率	%	目標値	9	15	28	43	62
			実績値	10	21	21	36	53
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	吉田地区の工事は、計画内容の精査により施工延長の減となり、漏水調査は、作業に伴う影響範囲を考慮して減としているため、目標値をやや下回っているものの、現場状況に合わせて適正に進めることができている。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	吉田地区の整備および漏水調査は、現場状況に応じて計画を変更しているため、概ね、適正に進めることができている。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
今後も水道の安定供給に努めるとともに、計画的に配水管の整備を進め、給水区域内の未普及地域の解消を図る。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	58
実施計画事業名	計画的な下水道の整備		担当部署名	下水道課
事業の実施目的 及び概要	都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、併せて公共用水域の水質保全に資するため、汚水の未整備地区の解消を進めます。 また、市街地の雨水排水対策として、公共下水道（雨水）の整備・充実を図り、浸水防除に努めます。 さらに、持続的な下水道機能の確保とライフサイクルコストの低減を図るため、下水道施設全体を一体的に捉え、ストックマネジメント計画や総合地震対策計画等に基づく対策を進めていきます。			
関連施策	【4-4】 上下水道事業の安定的な運営	根拠法令 関連計画	下水道法 手賀沼流域関連公共下水道事業計画 印旛沼流域関連公共下水道事業計画 公共下水道ストックマネジメント計画 公共下水道総合地震対策計画	
取組方針	計画的な下水道の整備/安定的な事業運営			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	1 平和を なくそう  6 安全な水とトイレ を世界中に  14 海の豊かさを 守ろう 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	公共下水道施設整備事業 ・次期中間処理施設汚水排水実施設計業務委託	公共下水道施設整備事業 ・次期中間処理施設下水道整備工事	公共下水道施設整備事業 ・次期中間処理施設下水道整備工事
	公共下水道ストックマネジメント事業 ・管路施設点検調査業務委託 ・管路施設詳細設計業務委託 ・老朽化対策工事	公共下水道ストックマネジメント事業 ・管路施設点検調査業務委託 ・管路施設詳細設計業務委託 ・老朽化対策工事 ・ポンプ場設備更新工事	公共下水道ストックマネジメント事業 ・管路施設点検調査業務委託 ・老朽化対策工事 ・ポンプ場設備更新工事
	公共下水道総合地震対策事業 ・耐震診断業務委託 ・管路施設地震対策工事 ・マンホールトイレ整備工事	公共下水道総合地震対策事業 ・地震対策詳細設計業務委託 ・管路施設地震対策工事	公共下水道総合地震対策事業 ・地震対策詳細設計業務委託 ・管路施設地震対策工事
		雨水排水対策施設整備事業 ・将監川1号幹線補修工事	
		公共下水道計画等 ・事業計画認可変更業務委託	
事業費	630,225千円	762,000千円	602,000千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	【下水道事業会計予算(収益的支出)】		
	1-1-4	総係費	
	【下水道事業会計予算(資本的支出)】		
	1-1-1	汚水管路建設改良費	
	1-1-2	雨水管路建設改良費	
	1-1-3	ポンプ場建設改良費	
	1-1-5	建設事務費	

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	【公共下水道施設整備事業】 ・管路施設実施設計業務(次期中間処理施設整備事業) 一式 ・管路施設特別重点調査業務 12.3km 【公共下水道ストックマネジメント事業】 ・管路施設点検調査業務 11.2km ・管路施設改築実施設計業務 一式 ・マンホール蓋改修工事 118箇所 ・管路施設補修工事 195.6m ・管路施設改築工事 23.6m 【公共下水道総合地震対策事業】 ・管路施設耐震診断業務 一式 ・マンホールトイレ整備工事 10基 ・マンホール管口可とう化工事 95箇所 ・マンホール浮上防止対策工事 1箇所	当初予算	630,225,000円
		予算現額	676,005,000円
		決算額	531,361,682円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	工事発注数	本	目標値	3	5	4	2	3
			実績値	3	5	6	3	3
	測量・詳細設計等業務委託発注数	本	目標値	1	—	2	3	2
			実績値	2	2	1	3	3
	岩戸地区面整備面積	ha	目標値	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
			実績値	1.0	0.6	0.0	0.0	0.0
	中継ポンプ場設備改築数	箇所	目標値	1	1	—	1	1
			実績値	1	1	—	0	0
成果指標	工事発注率 (実績数値/目標数値)×100	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	150	150	100
	測量・詳細設計等業務委託発注率 (実績数値/目標数値)×100	%	目標値	100	—	100	100	100
			実績値	100	200	50	100	150
	岩戸地区面整備率	%	目標値	59	60	61	62	63
			実績値	62	63	63	63	63
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	令和4年度に未普及対策(汚水)の整備方針を変更し、老朽化対策や地震対策を優先的に進めた。中継ポンプ場設備改築数は、設計業務等の遅れにより計画が延伸となっていたが、令和8年度に実施予定である。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	令和4年度に未普及対策(汚水)の整備方針を変更し、老朽化対策や地震対策を優先的に進めた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	岩戸地区の未普及対策(汚水)については目標を下回ったが、下水道事業の社会動向等を考慮し、老朽化対策及地震対策事業を優先的に取り組んだ結果であり、工事・設計等発注率は目標を達成している。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
・老朽化している下水道施設への対応や、災害時における機能確保を図るため、老朽化対策事業および地震対策事業を計画的に推進する。 ・未普及対策(汚水)については、市街化区域における整備が概成していることから、今後は市街化調整区域で浄化槽による汚水処理が行われている下水道事業計画区域を対象に、地域ニーズや汚水処理の実態を勘案し、効率性および経済性に配慮しながら適切な時期に整備を進める。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要			事業番号	59
実施計画事業名	持続可能な市内公共交通ネットワークの形成	担当部署名	交通政策課	
事業の実施目的 及び概要	市民の移動ニーズや地域の特性を踏まえ、路線バスとコミュニティバス「ふれあいバス」などの再編を進め、バス交通の効率化と充実を図り、利用者の負担が少なく利便性の高い持続可能な公共交通ネットワークを目指します。 また、高齢者や最寄りのバス停が自宅から離れており利用することが困難な方の移動手段は、市民のニーズや地域の状況に応じて、市、事業者及び関係機関が連携・協力して、移動手段を確保できるよう検討します。			
関連施策	【4-5】公共交通の充実	根拠法令 関連計画	道路運送法 地域公共交通活性化再生法 印西市地域公共交通計画	
取組方針	持続可能な市内公共交通ネットワークの形成			
総合戦略	基本目標②新しいひとの流れをつくる 基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	9 産業と地域づくりの 力をもつ  11 住み続けられる まちづくりを 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・ふれあいバスの運行(既存6ルート) ・路線バスへの補助(4ルート) ★タクシー利用助成事業の拡充 ・印西市地域公共交通計画に基づく事業改善 ★印西市地域公共交通計画の進捗管理、見直し ★ふれあいバス運行ルートの再編	・ふれあいバスの運行(既存6ルート) ・路線バスへの補助(4ルート) ★タクシー利用助成事業の検証 ★印西市地域公共交通計画に基づく事業改善 ・印西市地域公共交通計画の進捗管理	・ふれあいバスの運行(既存6ルート) ・路線バスへの補助(4ルート) ★タクシー利用助成事業の検証 ★印西市地域公共交通計画に基づく事業改善 ・印西市地域公共交通計画の進捗管理
事業費	270,912千円	290,912千円	290,912千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	2-1-6	企画費	公共交通網整備促進事業
	2-1-6	企画費	路線バス運行対策事業

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・地域公共交通計画を改訂した。 ・路線バス事業者(六合路線、宗像路線、印旛学園線、小林線)への路線バス運行経費の一部を対象に補助金交付した。 ・路線バス事業者(六合路線、宗像路線、印旛学園線、3路線)へフレアイカの適用を拡大した。 ・印西市タクシー利用に係る地域公共交通助成実証実験の対象エリアを市街化調整区域全域に拡大した。 ・バス停付近(西の原小学校、小倉台図書館、千葉NT中央北(上下線))にベンチを計4基設置した。 ・ふれあいバスを6ルート58便から7ルート74便に再編した。	当初予算	270,912,000円
		予算現額	296,178,000円
		決算額	270,884,059円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	印西市地域公共交通計画に基づく利用促進策	項目	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1	1
	印西市地域公共交通計画に基づくバス待ち環境整備	箇所	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	3	1	1	1	4
	ふれあいバスのルート数	ルート	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	6	6	6	6	7
	ふれあいバス運行ルートの再編	項目	目標値	—	—	—	—	1
			実績値	—	—	—	—	1
成果指標	外出時の自家用車使用率	%	目標値	75	75	75	70	70
			実績値	75	75	75	75	75
	ふれあいバス利用者数	人	目標値	247,000	248,000	249,000	250,000	251,000
			実績値	237,528	261,596	276,498	275,902	299,682
	路線バス(補助路線)利用者数	人	目標値	240,000	244,000	248,000	252,000	256,200
			実績値	207,082	216,847	216,906	218,592	231,601
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	ふれあいバスを6ルート58便から7ルート74便に大規模再編した。また、市街化調整区域にはタクシー利用助成の実施した。さらに路線バス3路線へのフレアイカ適用など利便性向上策を実施した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	ふれあいバスや補助路線バス、フレアイカの対象拡大等によりバス利用が増加した。また、バス再編によって民間路線バスとの重複区間を約2.0km減少した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	バス再編やタクシー助成等により、公共交通ネットワークの面的な充実を図った。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
再編された新路線網の利用状況や収支率を継続的にモニタリングしていく。 また、持続可能性と利便性のさらなる向上を図るため、公共交通計画に基づき、バス・タクシーの利便性向上及び経営の安定性確保を目指す。 交通制約者対策として新たなデマンド交通などそれぞれの地域に適した補完交通の導入を検討する。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要			事業番号	60
実施計画事業名	鉄道の利便性の向上		担当部署名	交通政策課
事業の実施目的 及び概要	市内の鉄道は、2路線5駅からなり、JR成田線においては、沿線自治体で組織する成田線活性化推進協議会や千葉県JR線複線化等促進期成同盟での活動をとおして、JR成田線の増発や始発電車に合わせた券売機やエレベーターの稼働など利便性と快適性の向上を目指します。 また、北総線においては、千葉県、沿線自治体、鉄道事業者で組織する北総線沿線地域活性化協議会での活動をとおして、イベントの開催や後援により、鉄道利用者の増加を目指し沿線地域全体の活性化を図るとともに、他社と比較して高い運賃を引下げ、利用者負担を軽減し、更なる利便性の向上を目指します。			
関連施策	【4-5】公共交通の充実	根拠法令 関連計画	地域公共交通活性化再生法 印西市地域公共交通計画	
取組方針	北総線・成田スカイアクセスのさらなる利便性の 向上/JR成田線の利便性と快適性の向上			
総合戦略	基本目標②新しいひとの流れをつくる 基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅 力的な地域をつくる			
関係するSDGs	9 持続可能な都市の発展を促す  11 住み続けられるまちづくりを 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	〔JR成田線〕 ・成田線活性化推進協議会として、JR東日本首都圏本部及び千葉支社に対しての要望活動や意見交換会の実施 ・成田線活性化推進協議会として、利用促進イベントの活動等 〔北総線〕 ★印西牧の原駅開業30周年関連事業として、関係機関と連携し、北総線沿線地域の活性化及び利用者のさらなる利便性の向上、利用促進を図る。	〔JR成田線〕 ・成田線活性化推進協議会として、JR東日本首都圏本部及び千葉支社に対しての要望活動や意見交換会の実施 ・成田線活性化推進協議会として、利用促進イベントの活動及び成田線開通125周年記念事業を実施 〔北総線〕 ★関係機関と連携し、北総線沿線地域の活性化及び利用者のさらなる利便性の向上、利用促進を図る。	〔JR成田線〕 ・成田線活性化推進協議会として、JR東日本首都圏本部及び千葉支社に対しての要望活動や意見交換会の実施 ・成田線活性化推進協議会として、利用促進イベントの活動等 〔北総線〕 ★関係機関と連携し、北総線沿線地域の活性化及び利用者のさらなる利便性の向上、利用促進を図る。
事業費	10,302千円	5,712千円	2,625千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	2-1-6	企画費	鉄道整備等促進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・成田線活性化推進協議会において、令和7年7月9日にJR東日本首都圏本部、令和7年11月4日に千葉支社に対し、首長等による成田線の要望活動を行った。沿線活性化事業としては、令和7年5月17日・18日と10月4日・5日に両国駅～布佐駅間を運行するB.B.BASEを実施し、351人のサイクリストが参加した。「駅からハイキング」については、令和7年11月28～30日に安食駅～下総松崎駅をコースに実施し222人が参加、令和8年3月27～29日に布佐駅～利根町をコースを実施し422人が参加した。また、令和7年12月13日には成田駅周辺で成田線沿線地域クリーンアップ大作戦2025を実施し24人が参加した。 ・印西牧の原駅開業30周年記念として、北総鉄道と連携し、「ほくそう制服電車いんざイ君」ぬいぐるみを1,000体作成、販売した。 ・ほくそう春まつりが令和7年4月20日に開催され延べ28,000人が参加した。市ではダーツゲーム「ダーツDEGETTS」を実施し、延べ800人が参加した。 ・北総線沿線地域活性化協議会による沿線活性化トレインを令和7年7月15日～令和8年2月28日まで運行し、うち2両において印西市PRポスターを掲出し市の魅力発信を行った。	当初予算	10,302,000円
		予算現額	10,302,000円
		決算額	8,458,694円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	成田線活性化推進協議会のイベント実施(駅からハイキング)	回	目標値	4	1	1	1	2
			実績値	3	2	3	2	2
	成田線活性化推進協議会のイベント参加人数	人	目標値	4,000	1,000	1,000	1,100	1,200
			実績値	1,872	1,094	1,322	735	1,019
	北総線沿線地域活性化協議会の後援事業	事業	目標値	15	15	15	15	20
			実績値	2	8	21	22	18
	ほくそう春まつり参加者数	人	目標値	12,000	12,000	21,000	22,000	24,000
			実績値	—	20,000	23,000	27,000	28,000
成果指標	木下駅乗降客数	人/日	目標値	4,100	4,100	4,150	4,200	4,250
			実績値	3,406	3,636	3,688	3,698	未確定
	小林駅乗降客数	人/日	目標値	3,900	3,900	3,950	4,000	4,050
			実績値	3,066	3,190	3,142	3,104	未確定
	千葉ニュータウン中央駅乗降客数	人/日	目標値	29,000	29,500	30,000	31,000	32,000
			実績値	23,286	26,042	27,525	28,651	29,643
	印西牧の原駅乗降客数	人/日	目標値	15,500	16,000	16,500	17,000	17,500
			実績値	12,412	14,526	15,974	16,549	17,192
	印旛日本医大駅乗降客数	人/日	目標値	6,300	6,350	6,400	6,450	6,500
			実績値	4,864	5,734	6,629	7,110	7,674

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	成田線及び北総線沿線活性化事業等の実績による。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
・成田線については、ダイヤ改正による増発増便や接続改善、駅施設設備の改善に向け、要望活動を実施するとともに、JRや成田線活性化推進協議会の沿線自治体と連携して沿線地域の活性化に取組み、利用者の増加と利便性の向上に努めていく。 ・北総線については、鉄道事業者や北総線沿線地域活性化協議会の沿線自治体と連携し、将来的な普通運賃のさらなる値下げと沿線地域の活性化に取組み、利用者の増加と利便性の向上に努めていく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	61
実施計画事業名	美しく快適な環境づくりの推進	担当部署名	クリーン推進課	
事業の実施目的 及び概要	ゴミゼロ運動やクリーン印西推進運動などの環境美化活動を通じて、市、市民、事業者などが一体となり、環境美化に対する意識の向上を図ります。 また、歩行喫煙・ポイ捨て等防止条例の適正な運用を図り、歩行喫煙、タバコ・空き缶などのポイ捨て行為の取り締まりや、引き続き啓発活動を実施することで、マナーの向上を推進します。			
関連施策	【4-6】 快適な生活環境の実現	根拠法令 関連計画	印西市環境基本計画 印西市歩行喫煙ポイ捨て等防止条例 及び同条例施行規則	
取組方針	美しく快適な環境づくりの推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	3 すべての人に 健康と福祉を 6 安全な水とトイレ を世界中に 11 住み続けられる まちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 14 海の豊かさ を守ろう 15 陸の豊かさ を守ろう 17 パートナーシップで 目標を達成しよう			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・職員によるパトロールの実施(歩行喫煙・ポイ捨て) ・違反者に対するの指導・勧告等 ・駅頭での啓発活動 ・啓発物にて喫煙及びポイ捨ての注意喚起 ・クリーン印西推進運動の実施(毎月第1月曜日) ・ゴミゼロ運動の実施	・職員によるパトロールの実施(歩行喫煙・ポイ捨て) ・違反者に対するの指導・勧告等 ・駅頭での啓発活動 ・啓発物にて喫煙及びポイ捨ての注意喚起 ・クリーン印西推進運動の実施(毎月第1月曜日) ・ゴミゼロ運動の実施	・職員によるパトロールの実施(歩行喫煙・ポイ捨て) ・違反者に対するの指導・勧告等 ・駅頭での啓発活動 ・啓発物にて喫煙及びポイ捨ての注意喚起 ・クリーン印西推進運動の実施(毎月第1月曜日) ・ゴミゼロ運動の実施
事業費	5,311千円	5,311千円	5,311千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	4-2-1	清掃総務費	歩行喫煙、ポイ捨て等防止事業
	4-2-1	清掃総務費	クリーン印西推進運動事業

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・職員による歩行喫煙・ポイ捨てパトロールを実施した。(212日、30件指導) ・駅頭での啓発活動を2日実施した。 ・啓発物にて、喫煙及びポイ捨て禁止の啓発を38日実施した。 ・クリーン印西推進運動を通年で実施し、154団体により15,410kgが回収された。 ・ゴミゼロ運動を5月25日に実施し、145団体により14,270kgが回収された。	当初予算	5,311,000円
		予算現額	4,781,000円
		決算額	4,120,372円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	職員によるパトロール日数 (歩行喫煙・ポイ捨て)	日	目標値	192	192	192	192	192
			実績値	225	182	173	169	212
	(歩行)喫煙及びポイ捨て等防止の啓発活動(車両広報・駅頭啓発)	回	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	73	43	51	37	38
	クリーン印西推進運動等の啓発活動(広報紙・HP・自治会長説明会等)	回	目標値	3	3	3	5	7
			実績値	7	7	7	7	7
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	(歩行)喫煙及びポイ捨て指導件数(年)	件	目標値	70	65	60	55	50
			実績値	79	112	111	89	30
	クリーン印西推進運動参加団体数	団体	目標値	155	157	159	161	163
			実績値	150	146	161	165	154
	ゴミゼロ運動参加団体数	団体	目標値	190	191	192	193	194
			実績値	中止	135	151	158	145
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	指導件数の減は、日中、駅周辺は通行人も少なく、指導よりも散乱ごみ清掃に時間を費やしたことによるもので、今後は、指導時間を見直したい。各環境美化運動への参加団体数は減少したが、総回収量は増加し、一定の成果はあったものとする。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	同上

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
各環境美化運動については、新規参加団体の増加が図られるよう周知に努めながら、引き続き市民、事業者の協力の下、実施していく。 喫煙・ポイ捨て指導は、パトロール・指導体制を再構築し、引き続き市民等のマナー向上に努めていく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

事業番号	62
------	----

1. 事業の概要

実施計画事業名	不法投棄防止対策の強化	担当部署名	クリーン推進課
事業の実施目的 及び概要	不法投棄されにくい環境にすることが重要であることから、監視カメラの設置場所を状況により随時見直すこと と幅広い時間帯で不法投棄防止パトロールを実施することにより、不法投棄の抑止に努めます。		
関連施策	【4-6】快適な生活環境の実現	根拠法令 関連計画	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
取組方針	不法投棄防止対策の強化		
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる		
関係するSDGs	3 すべての人に 健康と福祉を  6 安全な水とトイレ を世界中に  11 住み続けられる まちづくりを  12 つくる責任 つかう責任  14 海の豊かさ を保つ  15 陸の豊かさも 守ろう  17 パートナーシップ で目標を達成しよう 		

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・不法投棄監視カメラの運用 ・委託業者、市職員による監視パトロール ・自治会等との協働による大規模不法投棄物の撤去	・不法投棄監視カメラの運用 ・委託業者、市職員による監視パトロール ・自治会等との協働による大規模不法投棄物の撤去	・不法投棄監視カメラの運用 ・委託業者、市職員による監視パトロール ・自治会等との協働による大規模不法投棄物の撤去
事業費	7,146千円	7,146千円	7,146千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	4-2-1	清掃総務費	不法投棄対策に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・委託業者、市職員による日中・夜間の監視パトロールを合計で343回実施した。 ・不法投棄監視カメラ85台を運用した。(警察への撮影提出実績1件) ・不法投棄70件を確認し対処した。	当初予算	7,146,000円
		予算現額	5,928,000円
		決算額	5,349,570円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	職員による不法投棄監視パトロール(日中・夜間)	回	目標値	100	100	100	195	195
			実績値	195	237	248	244	243
	委託による不法投棄監視パトロール	回	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	103	100	100	100	100
	広報紙による啓発	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	2	2	1
	不法投棄監視カメラの運用	台	目標値	85	85	85	85	85
			実績値	85	85	85	85	85
成果指標	不法投棄確認件数(年)	件	目標値	150	145	140	120	100
			実績値	112	92	78	73	70
	市民等からの不法投棄通報件数	件	目標値	60	55	50	45	40
			実績値	41	46	30	35	45
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
不法投棄防止対策は、これまで実施している対策を継続して、粘り強く実施していくことが重要であることから、適宜、発生状況を踏まえ、事業内容の見直しを図りながら、引き続き各種事業等を実施していく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要			事業番号	63
実施計画事業名	環境汚染防止対策の推進	担当部署名	環境保全課	
事業の実施目的 及び概要	・地下水汚染が確認されている浦部地区の汚染除去対策・効果判定業務の実施及び小林地区の汚染の確認のための水質調査並びに浄化対策の検討を実施します。また、竹袋焼却場跡地の廃棄物が、周辺環境へ影響を及ぼすことが無いよう、適切なモニタリングを実施します。 ・東日本大地震に伴う東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故により放出された放射性物質による汚染について、市民への適切な情報提供を実施します。 ・不適切な猫の飼育や飼い主のいない猫は周辺の衛生環境の悪化につながるため、飼い主のいない猫の繁殖防止のために不妊去勢手術費用を一部助成し個体数の抑制を図ります。			
関連施策	【4-6】快適な生活環境の実現	根拠法令 関連計画	印西市環境保全条例及び同条例施行規則、共同命令適用以前に設置された一般廃棄物最終処分場の埋立終了に係る指導指針、放射性物質汚染対処特別措置法、子ども・被災者支援法	
取組方針	環境汚染防止対策の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	3 すべての人に 健康と福祉を  6 安全な水とトイレ を世界中に  11 住み続けられる まちづくりを  12 つくる責任 つかう責任  14 海の豊かさ を保つ  15 陸の豊かさを 保つ  17 パートナーシップで 目標を達成しよう 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	〈地下水汚染対策〉 ・浦部地区 汚染源の観測井及び民家井の地下水モニタリング調査及び汚染地下水の浄化 ・小林地区 汚染源及び周辺の観測井・民家井のモニタリング調査 ・竹袋焼却場跡地 モニタリング環境調査の実施 〈放射線調査〉 大気中放射線量等のモニタリング調査 〈地域猫活動〉 地域猫活動の普及啓発 不妊去勢手術費の一部助成 〈ペット霊園〉 (仮称)ペット霊園・火葬場に関する条例の制定	〈地下水汚染対策〉 ・浦部地区 汚染源の観測井及び民家井の地下水モニタリング調査及び汚染地下水の浄化 ・小林地区 汚染源及び周辺の観測井・民家井のモニタリング調査 ・竹袋焼却場跡地 モニタリング環境調査の実施 〈放射線調査〉 大気中放射線量等のモニタリング調査 〈地域猫活動〉 地域猫活動の普及啓発 不妊去勢手術費の一部助成 〈ペット霊園〉 (仮称)ペット霊園・火葬場に関する条例の運用	〈地下水汚染対策〉 ・浦部地区 汚染源の観測井及び民家井の地下水モニタリング調査及び汚染地下水の浄化 ・小林地区 汚染源及び周辺の観測井・民家井のモニタリング調査 ・竹袋焼却場跡地 モニタリング環境調査の実施 〈放射線調査〉 大気中放射線量等のモニタリング調査 〈地域猫活動〉 地域猫活動の普及啓発 不妊去勢手術費の一部助成 〈ペット霊園〉 (仮称)ペット霊園・火葬場に関する条例の運用
事業費	26,702千円	26,702千円	26,702千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	4-1-5	環境衛生費	犬猫適正飼育推進事業
	4-1-6	環境保全費	地下水汚染対策事業
	4-1-6	環境保全費	焼却場等跡地環境対策事業
	4-1-6	環境保全費	放射線対策事務に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・浦部地区の汚染源の観測井及び周辺民家井の地下水モニタリング調査及び汚染地下水の浄化を実施。浄化は少しずつではあるが成果が出ている。 ・小林地区の汚染源及び周辺の観測井・民家井のモニタリング調査を実施。汚染が拡大していないことを確認している。 ・竹袋焼却場跡地のモニタリング調査では、健康に被害のない結果が報告されている。 ・学校、公園等137施設で大気中放射線量等のモニタリング調査を実施し、全ての施設で基準値の範囲内の結果を確認した。 ・不妊去勢手術費を、オス55匹、メス96匹、墮胎メス57匹、合計208匹に助成した。 ・(仮称)ペット霊園・火葬場に関する条例の制定に向けた検討を行った。	当初予算	26,702,000円
		予算現額	27,131,000円
		決算額	24,508,279円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	浦部地区地下水汚染除去対策	試料	目標値	130	130	—	—	—
			実績値	144	144	—	—	—
	小林地区地下水汚染機構解明モニタリング	試料	目標値	30	30	—	—	—
			実績値	30	27	—	—	—
	浦部地区地下水汚染モニタリング調査	箇所	目標値	—	—	18	18	18
			実績値	—	—	18	18	18
	小林地区地下水汚染モニタリング調査	箇所	目標値	—	—	10	10	10
			実績値	—	—	9	9	9
	竹袋焼却場跡地調査箇所数	箇所	目標値	14	14	14	14	14
			実績値	14	14	14	14	14
成果指標	地下水汚染除去地点(浦部地区)	箇所	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	2	2	2
	地下水汚染基準値内地点割合(浦部地区)	%	目標値	—	—	100	100	100
			実績値	—	—	89	89	94
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	浦部地区の調査地点18カ所のうち1カ所から基準値を超えた数値の汚染物質が検出されているので引き続き浄化及びモニタリングを実施していく。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
今後も引き続きモニタリング調査を実施し、周辺環境への影響を注視していく。また、汚染の除去が進んだ際には、事業の完了を検討していく必要がある。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要			事業番号	64
実施計画事業名	鳥獣被害対策の推進		担当部署名	環境保全課
事業の実施目的及び概要	鳥獣による農林業被害や生活環境被害が発生しているため、状況に応じた対策を実施し、被害の低減を図っていきます。			
関連施策	【4-6】快適な生活環境の実現	根拠法令 関連計画	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律 鳥獣による農林水産等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律 印西市鳥獣被害防止計画	
取組方針	鳥獣被害対策の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	3 すべての人に健康と福祉を  6 安全な水とトイレを世界中に  11 住み続けられるまちづくりを  12 つくる責任を学ぶ  14 海の豊かさを守ろう  15 陸の豊かさも守ろう  17 パートナーシップで目標を達成しよう 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	★イノシシ、アライグマ、ハクビシン、タヌキ、カラスなど有害鳥獣の計画的な捕獲、防護柵の設置、生息環境管理等 ★地域ぐるみの鳥獣被害対策の実施 ・狩猟免許取得に係る助成金による新たなイノシシ捕獲従事者の確保 ・ムクドリによる生活環境被害の減少 ・コブハクチョウによる農作物被害防止	★イノシシ、アライグマ、ハクビシン、タヌキ、カラスなど有害鳥獣の計画的な捕獲、防護柵の設置、生息環境管理等 ★地域ぐるみの鳥獣被害対策の実施 ・狩猟免許取得に係る助成金による新たなイノシシ捕獲従事者の確保 ・ムクドリによる生活環境被害の減少 ・コブハクチョウによる農作物被害防止	★イノシシ、アライグマ、ハクビシン、タヌキ、カラスなど有害鳥獣の計画的な捕獲、防護柵の設置、生息環境管理等 ★地域ぐるみの鳥獣被害対策の実施 ・狩猟免許取得に係る助成金による新たなイノシシ捕獲従事者の確保 ・ムクドリによる生活環境被害の減少 ・コブハクチョウによる農作物被害防止
事業費	41,085千円	42,052千円	44,896千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	4-1-6	環境保全費	鳥獣被害対策事業

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の事業実績・成果	・有害鳥獣の捕獲数 イノシシ1,194頭、アライグマ153匹、ハクビシン83匹、タヌキ148匹、カラス等鳥類5羽。 ・防護柵3,120mを自力施工で設置した。 ・生息環境管理として、9団体が耕作放棄地等の草刈りを実施した。 ・地域ぐるみの鳥獣被害対策として、既存地域対策会(4地域)及び新規設立対策会(造谷・松虫)へのイノシシ捕獲の支援のほかイノシシ被害が多い地区に対策方法等の説明会等を実施した。 ・狩猟免許取得に係る助成金について11名に助成し、捕獲従事者を確保した。 ・ムクドリによる生活環境被害の減少対策として、6月から10月に千葉ニュータウン駅周辺の街路樹に集まるムクドリを器具を使用し被害が少なくなるよう追い払いを実施した。 ・コブハクチョウによる農作物被害防止対策として、水田に侵入したコブハクチョウの追い払い方法を耕作者に指導した。	当初予算	41,085,000円
		予算現額	42,699,000円
		決算額	39,549,626円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	イノシシ用電気柵設置距離数	m	目標値	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
			実績値	30,500	20,600	8,900	15,165	3,120
	捕獲従事者数(有資格者)	人	目標値	80	85	90	95	100
			実績値	65	65	75	75	86
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
	イノシシ捕獲頭数	頭	目標値	800	900	1,000	1,000	1,000
			実績値	733	1,064	1,122	957	1,194
成果指標	小型獣(アライグマ・ハクビシン・タヌキ)捕獲数	匹	目標値	400	500	500	500	500
			実績値	320	343	305	357	384
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	D 目標値を下回る	電気柵の設置要望箇所が、小規模な農地であったため、目標値を下回った。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
地区(地域)の対策会も増加しており、防護対策、生息環境管理対策及び駆除体制の強化を図るため、今後も継続して支援等を実施していく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

事業番号 65

1. 事業の概要

実施計画事業名	環境保全意識の高揚と自然と触れ合う機会の充実		担当部署名	環境保全課
事業の実施目的 及び概要	豊かな自然環境を保全し、生物多様性の確保や地域の生態系を維持していくため、市民、事業者、行政が連携し農地や樹林地、谷津田などの里山を適切に維持・管理する仕組みづくりや担い手の育成を図ります。 また、市民自らが地域の自然を守っていく意識を高め、自然に親しむための市民参加型の里山保全活動・自然観察会等を実施し、環境について学ぶ機会を提供し、市民の自然への関心を高め、環境保全意識の高揚を図ります。併せて、開発や外来種の侵入により在来の生物や生態系に大きな影響を及ぼしていることから、生物多様性を守るための取り組みを推進します。			
関連施策	【4-7】 自然との共生の実現	根拠法令 関連計画	印西市市民の森の設置及び管理に関する条例及び同条例施行規則 印西市環境基本計画	
取組方針	自然の保護、保全体制の充実/ 自然を知り、自然と触れ合う機会の充実			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	3 すべての人に健康と福祉を  6 安全な水とトイレを世界中に  7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに  8 働きがいも 経済成長も  9 産業・技術革新の基盤をつくろう  11 住み続けられるまちづくりを  12 つるむ責任 つなぐ未来  13 気候変動に 具体的な対策を  14 海の豊かさを守ろう  17 パートナーシップで 目標を達成しよう 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・自然環境学習(いんざい自然探訪・里山学校等)の実施 ・環境白書の作成(計画の進行管理) ・草深の森の維持管理及び保全 ★武西の里山保全と調査 ・大森・別所の森(ホテル等)保全 ・自然環境調査の実施(前期) ・生物多様性地域戦略策定準備 ・特定外来生物防除業務 ★里山の水循環と生物多様性の保全及び地域活性化のための官民連携事業 ★武西の里山等OECD登録	・自然環境学習(いんざい自然探訪・里山学校等)の実施 ・環境白書の作成(計画の進行管理) ・草深の森の維持管理及び保全 ★武西の里山保全と調査 ・大森・別所の森(ホテル等)保全 ・自然環境調査の実施(後期) ・生物多様性地域戦略策定 ・特定外来生物防除業務 ★里山の水循環と生物多様性の保全及び地域活性化のための官民連携事業	・自然環境学習(いんざい自然探訪・里山学校等)の実施 ・環境白書の作成(計画の進行管理) ・草深の森の維持管理及び保全 ★武西の里山保全と調査 ・大森・別所の森(ホテル等)保全 ・生物多様性地域戦略策定 ・特定外来生物防除業務 ★里山の水循環と生物多様性の保全及び地域活性化のための官民連携事業
事業費	28,038千円	30,200千円	30,200千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	4-1-6	環境保全費	環境基本計画の推進事業
	4-1-6	環境保全費	自然環境保全事業

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・武西の里山における保全活動等が自然共生サイトに認定された ・いんざい里山グリーンインフラ推進協議会が設立され、市民団体や研究機関等とグリーンインフラ施策についての検討や庁内ワークショップを行った ・環境白書の作成(計画の進行管理) ・いんざい自然探訪10回 (ホテルの鑑賞会、ザリガニ釣り体験、里山学校4回、里山さんぽ、あおぞら講座、モグリウムワークショップ、田んぼでカエル調査) ・武西の里山の調査・モニタリング56回、保全活動18回 ・草深の森保全業務 5回 ・大森・別所の森保全業務 3回 ・政策アドバイザー(グリーンインフラアドバイザー)の任用 ・グリーンインフラ庁内検討会の開催(3回実施) ・LMC(仮称ランドスケープマネジメントセンター)設立に向けた検討、調整	当初予算	28,038,000円
		予算現額	23,763,000円
		決算額	22,433,580円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	草深の森保全回数	回	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	5	5	5	5	5
	武西の里山保全回数	回	目標値	6	6	6	6	10
			実績値	7	7	7	5	18
	別所・大森の森保全回数	回	目標値	4	4	4	4	4
			実績値	5	5	6	4	3
	いんざい自然探訪実施回数	回	目標値	—	—	5	5	5
			実績値	—	—	6	6	10
成果指標	草深の森のPR(広報・HP等)	回	目標値	—	—	5	5	5
			実績値	—	—	5	4	6
	草深の森来場者数(年間)	人	目標値	1,800	1,800	1,800	1,900	2,000
			実績値	1,845	1,707	1,713	2,094	2,116
	いんざい自然探訪参加者数(延人数)	人	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	33	80	107	84	371
	別所・大森の森ゲンジボタル個体数	個体	目標値	—	—	215	220	225
			実績値	—	—	315	435	209
	別所・大森の森ヘイケボタル個体数	個体	目標値	—	—	25	25	30
			実績値	—	—	—	20	30
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
概ね目標値を達成しており、事業実績としては、一定の成果が見られるため、全体として現行の事業体系で推進していくとともに、グリーンインフラ推進組織として設立予定のLMC(仮称ランドスケープマネジメントセンター)と連携し、さらなる展開を図っていく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要			事業番号	66
実施計画事業名	ごみの減量化と資源化の推進		担当部署名	クリーン推進課
事業の実施目的 及び概要	市民・市・事業者の連携によるごみの減量化・再資源化に向けて取り組み、資源循環型社会の実現を目指します。 また、ごみの適正な処理のため、印西地区環境整備事業組合、印西地区衛生組合の既存処理施設の維持管理及び新たな処理施設の建設に、構成市町と連携して取り組みます。			
関連施策	【4-7】 自然との共生の実現	根拠法令 関連計画	第3次印西市ごみ減量計画 印西地区ごみ処理基本計画（令和5年3月）	
取組方針	ごみの減量化と資源化の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	3 すべての市民に 健康と福祉を 6 安全な水とトイレを 世界中に 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 8 働きがいも 経済成長も 9 産業と雇用創出の 未来をかなそう 11 住み続けられる まちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に 適応する 14 海の豊かさを守ろう 17 パートナーシップで 目標を達成しよう			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・ごみの減量化・再資源化の意識啓発活動 ・有価物集団回収奨励金事業 ・生ごみ処理容器等購入費補助金事業 ・廃棄物減量等推進員の活動 ・いんざい環境フェスタ等イベント	・ごみの減量化・再資源化の意識啓発活動 ・有価物集団回収奨励金事業 ・生ごみ処理容器等購入費補助金事業 ・廃棄物減量等推進員の活動 ・いんざい環境フェスタ等イベント	・ごみの減量化・再資源化の意識啓発活動 ・有価物集団回収奨励金事業 ・生ごみ処理容器等購入費補助金事業 ・廃棄物減量等推進員の活動 ・いんざい環境フェスタ等イベント
事業費	23,658千円	23,658千円	23,658千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	4-2-1	清掃総務費	ごみ減量化・再資源化推進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・「広報いんざい」に、毎月ごみ分別の記事掲載 ・YOUTUBEに『ごみのこととおしえてブンベツくん(プラスチックの出し方が変わりました編・リチウムイオン電池を回収します編)』を公開 ・生ごみ処理容器等購入補助金(113世帯交付) ・有価物集団回収奨励金事業(93団体・約1,131トン回収) ・ごみ減量・資源化出前講座(町内会等12回、延べ277人参加) ・リサイクル情報広場事業(10件譲渡) ・廃棄物減量等推進員の任命(99人) ・いんざい環境フェスタ(6月7日(土)、スタンプラリー参加者約425人) ・おさがりマルシェ(10月4日(土)、87人来場、約244 kg譲渡) ・ごみ分別アプリ「さんあ〜る」(延べ17,583件DL(前年度比+1,946件)) ・プラスチック製品及び小型充電式電池の資源回収開始	当初予算	23,658,000円
		予算現額	23,384,000円
		決算額	18,232,708円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	広報による啓発	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12	12	12	12	12
	ごみ減量化等説明会	回	目標値	15	18	21	24	27
			実績値	7	8	2	13	12
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	家庭系ごみ(資源物を除く)の 一人一日あたり排出量	g/人・日	目標値	479	473	467	460.6	454.6
			実績値	526	511	493	484	477
	生ごみ処理容器等購入費補助	世帯	目標値	70	75	80	85	90
			実績値	117	95	118	120	113
	有価物集団回収奨励金交付団体数	団体	目標値	120	120	120	120	120
			実績値	97	97	96	96	93
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
さらなる、ごみ減量・資源化のため、引き続き各種事業を実施するとともに、令和8年度は新しい啓発チラシを作成するなど、あらゆる広報手段を活用し市民・事業者への啓発を図って行く。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	67
実施計画事業名	環境への負荷の低減	担当部署名	環境保全課	
事業の実施目的 及び概要	2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、地球温暖化の原因である二酸化炭素などの温室効果ガスの削減に取り組んでいくため、EV車の導入及び定置用リチウムイオン蓄電システム等の省エネ設備の設置者に対して導入の補助を実施します。 また、環境家計簿等の普及や省エネに関する情報を広報やホームページに掲載し、情報提供を行います。生活雑排水による公共用水域の水質汚濁防止及び公衆衛生の向上を図るため、高度処理型合併処理浄化槽設置者に対し補助金を交付し、普及を促進します。さらに、設置後5年を経過した浄化槽の維持管理状況調査を実施し、浄化槽の維持管理の促進を図ります。			
関連施策	【4-7】 自然との共生の実現	根拠法令 関連計画	地球温暖化対策の推進に関する法律 気候変動適応法 印西市環境基本計画（印西市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）及び印西市地域気候変動適応計画を内包） 印西市庁内エコプラン 浄化槽法 印西地域循環型社会形成推進地域計画	
取組方針	環境への負荷の低減			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	3 気候変動に 適応する 6 安全な水と 衛生 7 エネルギー を安全に 持続的に 利用する 8 経済的に 持続可能な 成長を 実現する 9 産業と 雇用を 増進する 11 住み続け たいまち をつくる 12 つぎの 世代に つぐな う 13 気候変動に 適応する 14 海の豊かさ を増やす 17 パートナー シップで 目標を 実現する			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)				単位:千円
	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)	
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・合併処理浄化槽設置事業補助金 ・合併処理浄化槽維持管理状況調査 ・住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金 ・カーボンニュートラル加速化事業(5か年) ・グリーンカーテン推進事業 ・いんざいカーボンニュートラル・チャレンジ2050策定 ・公共施設ZEB化指針策定	・合併処理浄化槽設置事業補助金 ・合併処理浄化槽維持管理状況調査 ・住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金 ・カーボンニュートラル加速化事業(5か年) ・グリーンカーテン推進事業 ・公共施設等の脱炭素化の推進 ・カーボンニュートラル推進事業 ・シェアサイクル事業	・合併処理浄化槽設置事業補助金 ・合併処理浄化槽維持管理状況調査 ・住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金 ・カーボンニュートラル加速化事業(5か年) ・グリーンカーテン推進事業 ・公共施設等の脱炭素化の推進 ・カーボンニュートラル推進事業 ・シェアサイクル事業	
事業費	130,632千円	140,000千円	140,000千円	

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	4-1-5	環境衛生費	合併処理浄化槽設置事業
	4-1-6	環境保全費	地球温暖化対策事業

3. 事業実績等				単位:円
令和7年度の 事業実績・成果	・合併処理浄化槽設置補助金 90基 ・住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金 266件 ・グリーンカーテンでゼロカーボン事業 苗配布数 668苗、種配布数 820袋 ・いんざいカーボンニュートラル・チャレンジ2050を策定した。 ・公共施設ZEB化指針を策定した。 ・東京ガス株式会社と「カーボンニュートラルなまちづくりに向けた連携協定」を締結した。	当初予算	130,632,000円	
		予算現額	82,320,000円	
		決算額	73,741,666円	
		翌年度繰越額	—	

4. 指標及び実績値		指標内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	合併処理浄化槽の簡易水質検査	件	目標値		40	30	50	50	—
			実績値		50	48	47	—	—
	合併処理浄化槽補助設置基数	基	目標値		70	70	70	100	100
			実績値		112	102	90	107	90
	合併処理浄化槽維持管理状況調査数	件	目標値		—	—	—	—	50
			実績値		—	—	—	—	—
	合併処理浄化槽設置及び維持管理促進のPR(広報・HP・チラシ等)	回	目標値		5	5	5	—	—
			実績値		5	5	5	—	—
	太陽光設備設置基数	基	目標値		30	—	—	—	—
			実績値		55	—	—	—	—
	集合住宅用充電設備補助件数	回	目標値		—	—	2	3	4
			実績値		—	—	0	0	0
	定置用リチウムイオン蓄電システム設置補助件数	件	目標値		—	60	100	105	110
			実績値		—	160	138	137	123
成果指標	電気自動車等(EV・PHV)補助件数	件	目標値		—	—	15	18	20
			実績値		—	—	17	25	38
	水質検査結果「適正」判定率	%	目標値		90	90	100	100	—
			実績値		96	96	100	—	—
	浄化槽法定検査受検率	%	目標値		—	—	—	—	100
			実績値		—	—	—	—	43
	CO2削減効果	t-CO2	目標値		100	—	—	—	—
			実績値		170	—	—	—	—
	CO2削減効果(定置用リチウムイオン蓄電システム導入による)	t-CO2	目標値		—	—	76	80	84
			実績値		—	—	151	127	127

5. 事業に対する評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	浄化槽法定検査受検率は目標値を下回ったが、定置用リチウムイオン蓄電システム導入によるCO2削減効果は目標値を上回ったことから、評価値をBとした。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性	
今後の方向性や課題等	
合併処理浄化槽補助金は、水質汚濁防止の観点から単独処理浄化槽及び汲取り便槽からの転換の促進に重点を置き継続する。 住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金は、現行のまま継続するが、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、更なる施策を検討する。	